

まちのうごき

11月24日 役場庁舎
出会いの場創出の連携に関する協定締結式



帯広信用金庫(高橋常大理事長)、芽室町農業委員会(島部亨会長)、芽室町の3者は、出会いの場創出に関する連携協定を締結しました。この協定は、町の少子化や農業者の後継者対策として、出会いの少ない独身男女に対し出会いの場を提供し、結婚などを通じ、本町への定住を促していくことを目的としています。具体的には、結婚を希望する男女に、帯広信用金庫が開設している「おびしんキューピット(結婚相談所)」に登録をしていただくことからはじまります。

11月28日 東京主婦会館プラザエフ
東京芽室会 秋の交流会



東京芽室会(栄前田勝良会長)の「秋の交流会」が会員30人の参加で行われました。芽室町からは、手島町長、早苗町議会議長、宇野農業協同組合代表理事組合長、松山観光物産協会会長などが参加しました。

コロナ禍により昨年に引き続き総会を開催することができず、会員が集まるイベントは昨年の秋の交流会以来となりました。交流会では令和4年5月に予定の芽室町を訪問する「ふるさと訪問」への参加の案内や、東京芽室会会員で落語家の立川談吉さんの一席も披露され、盛会のうちに終了しました。

11月19日 黒田 房子 さん
100歳おめでとございます



11月18日に100歳を迎えられた黒田房子さん(弥生北町)に、芽室町から感謝状と敬老祝金が贈呈されました。

黒田さんは小学生の頃から短歌を詠むことを趣味として続けており、町内で短歌を募集する行事があったときには作品を応募されていたそうです。また、柏樹学園に入園したときにも、仲間の皆さまと短歌を楽しんでいたとのことでした。

黒田さん、これからもどうぞ元気にお過ごしください。

11月25日 役場庁舎
『卒車』に向けた取り組み



運転に不安のある方が運転免許証を返納しやすい環境を整備するため、帯広警察署と連携して「臨時出張窓口」を開設しました。当日は13人の方が来庁し、免許証を返納されました。

当日は同じ会場で免許証を自主返納された方向けの「じゃがバス」1年間無料券や、農村部にお住まいで免許証を持っていない方が対象のタクシー料金半額助成の申請手続きを受け付けました。

卒車に際し、返納された方は「自動車がなくとも徒歩や自転車があるから大丈夫、何とかかなる」とすっきりした表情でコメントされていました。

旬人の Person of the hour

芽室ジモト大学の皆さん

後列左から谷口 愁侑さん、白川 もねさん、西田 琉我さん、高道 悠生さん
前列左から山吹 真裕さん、正岡 崇さん(商品開発協力)、小松 電太さん
ポーズは「JIMOTO」のJポーズだそうです

芽室ジモト大学とは?
中学生・高校生がまちに飛び出し「ヒト・モノ・コト」に触れ、探究心を育みながら将来について考える事業です。

芽室ジモト大学の活動

『芽室ジモト大学』は今年度からスタートした新しい事業。高校生チームスタッフ・受講生含め中学・高校生あわせて現在10人で活動しています。これまで町の人やお店取材し、自分たちで作ったホームページで発信するなど、芽室の魅力を再発見・発掘する活動を行ってきました。

現在『MEMOPIERNAZZ』代表の藤井信二さん、菓子店「まさおか」の正岡崇さんにご協力いただき、芽室産のピーナッツを使った新商品開発に取り組みんでいます。

同世代にバズるお菓子を構想中

取材にお邪魔すると、商品開発会議の真っ最中。芽室産ピーナッツを使った新商品として、若い世代がSNSに載せたいようなお菓子を目指しているそうです。当日は実際にSNSで注目を集めているお菓子のリサーチから、正岡さんが用意した4種類のクリームのサンプルを食べ比べ、サイズや見た目、中身や食感、パッケージについて意見交換を行いました。どのような商品ができるか、今後注目ください。

今後の予定は…

学校や学年、ジモト大学への参加経緯も「担任の先生の紹介」から告知チラシを見て面白そうだったから」などバラエティ豊かなメンバーの皆さんですが、楽しく、真剣に議論している姿が印象的でした。活動はジモト大学ホームページやInstagramで発信していきます。ぜひチェックしてみてください!

一緒に活動してくれるメンバー随時募集中です!

▲ホームページ

▲Instagram

撮影時のみマスクを外していただきました。